

平成 28 年度 第 1 回可児市景観審議会議事録

- 1 開催日 平成 28 年 7 月 26 日 (火) 開会時間 午前 10 時 00 分
閉会時間 午前 12 時 05 分
- 2 開催場所 庁舎 5 階第 1 委員会室
- 3 出席委員 景観審議会委員
松本 直司 (会長)
亀井 栄治 (副会長)
伊藤 栄一 (副会長)
平岡 康彦
林 則夫
長谷川 彰
義村 晃
加藤 礼子
可児 幹祥
伊藤 峰由
奥村 公子
秋山 嘉寿子
栃川 敏
奥村 尚
- 4 事務局 建設部長 三好 英隆
都市計画課長 田上 元一
都市計画課 総務係長 杉山 尚示
都市計画課 主査 長谷川 邦明
- 5 会議内容 議事
報告第 1 号 平成 27 年度景観まちづくり施策の取組み状況について
協議第 1 号 これからの景観まちづくりについて
その他

<p>6 会議の詳細</p> <p>都市計画課長 田上 (以下「課長」)</p> <p>建設部長 三好 (以下「部長」)</p> <p>松本会長 (以下会長)</p> <p>平岡委員</p> <p>課長</p> <p>一同</p> <p>課長</p>	<p>次のとおり</p> <p>(開会を宣言)</p> <p>稲垣委員は欠席であることを紹介する。</p> <p>審議会開催にあたり挨拶をおこなった。</p> <p>会長挨拶をおこなった。</p> <p>新任委員である平岡委員より挨拶をおこなった。</p> <p>議事録の作成について、各委員の名前を明記することを諮る。</p> <p>(了承)</p> <p>答申事項がないため、議事録署名人の指名なしとする。</p> <p>可児市景観審議会条例第 28 条の規定に基づき、進行を松本会長に委ねた。</p>
<p>報告第 1 号 議事</p>	
<p>会長</p> <p>総務係長 杉山 (以下「杉山係長」)</p> <p>会長</p>	<p>報告第 1 号の議事について 事務局へ説明を依頼した。</p> <p>報告第 1 号 平成 27 年度景観まちづくり施策の取組み状況について 説明を行った。</p> <p>広見東部地区の景観モデル地区とはどういったものか。</p>

課長	岐阜県屋外広告物条例の中にモデル地区についての条項があり、県内では高山市のインター近隣と広見東部の2地区は、通常より厳しい規制を課している。案内看板は集合看板以外禁止としているが、地元住民が、インターが出来ることで出口付近に看板が乱立されないように、この制度を活用した経緯がある。
会長	インター付近は乱雑になりがちなので、先駆けて認定を受けられた。
平岡委員	大規模行為の届出のうち、建築物の建築について、勧告・指導はあったか。
課長	届出勧告制度により、着工 30 日前までに届出をしてもらい、審査後に適合通知書を出して制限を解除するが、全て適合している。届出前に事前に相談を受けて指導等しているほか、不動産取引の重要事項の説明の中で、景観計画・景観条例の景観形成基準の遵守を指導している。
長谷川委員	広報・啓発活動の中で、景観学習は帷子小学校のみか。
杉山係長	平成 27 年度は帷子小学校のみです。できれば、他の小学校でも実施できると良いと思っている。
長谷川委員	小学校だけでなく、成人や親子向け等、次のステップに繋がる方法を考えていければどうか。
課長	次の協議事項で積極的な議論を進めていきたい。景観について知っていただくうえで大事な取り組みにもなる。
協議第 1 号 議事	

会長	協議第1号の議事について、事務局に説明を依頼した。
杉山係長	報告第1号 これからの景観まちづくりについて 説明を行った。
会長	<p>可児市の景観施策について、考えていかなければならない。先程長谷川委員の話にあったように、施策の中に心の景観教育を是非入れて欲しい。</p> <p>自由に意見を出してほしい。</p>
伊藤副会長	<p>景観に限らず、施策を進めるうえで規制、誘導、啓発があるが、大規模行為の届出等は市の努力で基準を満たしていることは成果として挙げていることは大事であるが、規制で止まるのではなく、どう誘導していくかで、より話が広がり、市民にも周知できるのではないかと。</p> <p>例えば、壁面緑化や屋上緑化は一般的には導入が難しいので、公共建築物に導入してみてもどうか。学校教育についても、学校側からの依頼がないと行かない、ではなく先生方にどう営業していくか。規制に留まらず、誘導や啓発に繋がるためのツールの使い方を考える必要がある。</p>
会長	<p>制度としては出来ているが、住民に浸透していないため、十分に発揮できていない。誘導と啓発が一番の問題ではないかと。景観は行政が造るものではなく、住民が自分達の街をどうしたいか、というところから生まれてくるのが一番いい形である。ただし、個人ではなかなか出来ないで、行政が後押しすることで、元々利のように住民が自ら考えて進めていけるようになる。</p>
秋山委員	<p>市民目線としての意見として、可児駅前が美しくない。計画が市民に周知されていないし、不便になっている。</p>

	<p>駅前で唯一美しいと思っていた桜の木も切られてしまった。川の沿道に桜の美しい所はあるが、駅前には何故無いのか。花フェスタに行かれる方から殺風景な街と言われたこともあった。</p>
<p>会長</p>	<p>駅前での住民の集まりは何かあるか。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>駅前に住んでいないのでわからないが、川の向こう側では一生懸命やっている。</p>
<p>会長</p>	<p>地区計画の基準に従って造られているはず。組織がしっかりしていないのか、計画がしっかりと作られていないのか。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>地区の方のエゴになっては困る。周辺の人全体が誇れるようにして欲しい。すっきりしてきて期待していただけに残念に思う。</p> <p>もうひとつ、生け垣が減少しているが、主婦層のオープンガーデン思考が浸透している。庭の植栽を見せる方向に変わっているため、生け垣を造る家が減っていると思う。既存の生け垣も、虫食いになった箇所を花を植えたりしている。</p>
<p>伊藤副会長</p>	<p>緑に対する考え方や庭の造り方も時代で変わってくる。制度のあり方も生け垣を沿道緑化という視点で捉えて、オープンガーデンについても助成をする等考えていく必要がある。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>今のところは個人で楽しんでいるし、道端の花がすごく綺麗になった。</p>
<p>会長</p>	<p>『おぶせ』のように、オープンガーデンで多くの人に積</p>

	<p>極的に見せるといった事例もある。生け垣を造らず玄関口まで芝生を敷く、生け垣に花を植えたり綺麗に刈り込んだりする、といったいろいろな形がある。各地区の特徴はあってもいいが実際に住んでいる人の意思が大事。地区計画を作るときに、ある程度の基準を作ってそこに住んでもらいたい。住む前の方が作り易い。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>生け垣については、防災面で、ブロック塀は倒れた時に危ないからというのと、大規模団地で緑化推進の目的があった。私の家の樹木も高さ3mになったため伐った。高齢化が進むなか面倒を見るのが大変なので、生け垣等はやめよう、という意見も出ている。会長が話したように、一律ではなく地区や個人の考え方で推進していかないといけないのではないか。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>環境フェスタで環境木の配布もあって、個人宅に木が増えたことは喜ばしいが、剪定で出た枝の処分に困っている。</p>
<p>会長</p>	<p>ある程度、我々としての考え方は持っていていいが、それを地区に押し付けることは良くない。選択肢を提供する必要はある。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>市のゴミ収集方法は、名古屋市の方からは楽でいいと言われている。枝葉については鹿児島では行政が回収し、肥料化している。</p>
<p>会長</p>	<p>切った枝葉は自分で処理しているのでは。</p>
<p>秋山委員</p>	<p>ものすごい量になる。</p>
<p>伊藤副会長</p>	<p>緑化に関して言えば、時代ごとに把握しながら、市全体</p>

秋山委員	<p>で緑化が進むような施策転換を考えていかなければならない。</p> <p>みんなよく考えているし、知っている、緑化は大事だねと。自宅も庭が森のようになっている。</p>
長谷川委員	<p>景観アドバイザー制度をもっと周知しては。また、人数を増やしてはどうか。小学生への教育として、坂戸に建設中のバローへ社会見学の名目で見学、または親子で参加させてみてはどうか。</p> <p>もう一つ、市や審議会ですぐにしたいことを1つは持って進めていくことが必要ではないか。</p>
会長	<p>皆で景観を大事にしよう、と思う心を育てることが大事。皆で協力して街の人と一緒に行動できると良いのでは。</p>
加藤委員	<p>秋山委員の意見に賛同で、駅前が綺麗にならない理由を考えて、JRと名鉄に働きかけて何とかならないか、と以前意見を述べたことがある。計画当初に、市では近隣住民の意見を基に都市計画されていると説明があり、話しがそこで終わってしまった。</p> <p>駅前は現在工事中ではあるけど、車を停める場所が無く、進路もわかりにくいので、前よりも使い辛い。狭い所をいかに有効活用するのか難しいが、間に合ううちに何とかしてほしい。市全体としての問題ではないかと思うので、私達で出来ることを考えていかないといけないのでは。</p>
会長	<p>駅前の桜が切られたことは驚いている。市として具体的な動きはあるか。</p>
部長	<p>駅前については現在工事中で、駅前ひろばも仮設中。J</p>

	<p>R、名鉄と協議を重ね、当初は橋上駅で計画していたが、最終的には自由通路を設けることとし、名鉄は現在の形で最終決着している。JRも改装予定は無い。自由通路については11月着工予定で進めている。駅前ひろばを都市計画決定して、できるだけ不自由のないようにし、西側も用地を確保して拡げる予定である。</p> <p>子育て支援施設も景観相談を利用し、準備を進めている。</p>
<p>会長</p>	<p>計画初期の段階でアドバイザーとして入らせてもらった。当初は住民も熱心に参加していたが、ある段階で止まってしまった。もう一度住民と話し合うか、組織を充実させることは出来ないか。</p>
<p>栃川委員</p>	<p>景観となると幅が広い。可児市は緑豊かな住みよい街だが、道路について、土田のアンダーパスから坂戸に入る道路や市役所前の道路が老朽化していて、草も生えているし、道路標示も消えかけている。現状ではイメージダウンに思う。市の努力には敬意を表すが、既存の道路等についても綺麗に整備して欲しい。</p>
<p>会長</p>	<p>足元の整備も重要だと思う。</p>
<p>伊藤副会長</p>	<p>駅前ひろばについては、最終的な姿が見えてきていると思うが、市民に周知されていない。今後、市民に関わってもらい、整備する余地があるならば、これからも組み立てていかなければならない。決定されている計画の中で動かさざるを得ないものがあるならば、しっかりと周知していかないと無駄な議論になってしまう。</p>
<p>会長</p>	<p>どこかに看板等は出していないのか。</p>
<p>部長</p>	<p>ひろばと自由通路については、大きくはないが、駅前の</p>

<p>長谷川委員</p>	<p>バス停留所にお示ししている。広報紙にも掲載している。2年前に出したと記憶しているが、小さいので十分な周知が出来ていないのは事実かもしれない。</p> <p>個人的に思うのは、可児駅は市のメインではないのではないか。メインになるように造ってきたけどメインになりきれなかった部分があると思う。名鉄の定期券利用者数は西可児駅と可児駅が減っている。逆に切符を買って利用する人は増えている。こういったデータを踏まえていかないと、可児駅中心については違和感があると思う。地区の方の憩いの場所として考えていったほうがいいと思う。増減の理由も分析し、誰が利用するのかを把握していかないと難しいのでは。実質的に地区で作り上げて行くのが必要だと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>駅前については、秋山委員のおっしゃるとおりだと思う。行政はそれなりの努力はしていると思うが、住民の統一的な見方がいまひとつ感じられないのではないかと。そのあたりコンタクトを取れると良いと思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>生け垣助成について、地元でもあまり浸透されていないので、制度を知れば利用する人はいるかもしれない。山を切り崩して造られた昔の団地は、土留めとして法面にブロックが積んであるが、宅地部分はいろいろ変えることが出来ると思うので。そういった時にパンフレットもいいが、広報にも協力していかないといけないのかなと思う。具体的かつ優しい広報で広めていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>広報や宣伝をやっていただくしかなく、それ以上は踏み込めない。景観教育の関係になってくる。景観を良くしようとした時にどう動くか、筋道がわかってくると良いと思う。</p>

長谷川委員	建設協会に再度周知してもらおうといいのでは。
部長	<p>市民への周知をどのようにするのか。広報紙には掲載しているが、例えば、団地内のある1件が制度を利用した際に、いかに行政が入って周りに周知していくか。</p> <p>それと、若干話が違うが、狭あい道路（幅4m以下の道路）は法律上、将来的に4mになるのが建前だが、なかなか周知されていない。理由は、設計者と住民が切り離されてしまい、住民に理解されていない。現在市では、周りを引き込んで法律上の建前を周知している。緑化についても同じことが言えると思う。行政が一步踏み込めるツールを考える必要があると思う。</p>
会長	<p>人手が足りないことだと思う。浸透させるためにはモデル地区のように重点的な所を作って、集中的に良くしていく方法もあると思う。</p> <p>折角出席されたので、皆さんに感想でもいいので一言お願いしたい。</p>
林委員	<p>可児町時代から役所（場）に足を運んで部課長クラスと意見交換をおこなっているが、この審議会の場で、委員全員から一言意見を出すように会長に話をしたので、是非ともお願いしたい。</p> <p>あと、可児御嵩インター付近は雑草、雑木が多く、猪の住処にならないようにしてほしい。</p>
亀井副会長	<p>事務局からの説明の中で成果の話があったが、成果の捕らえ方に違和感があった。可児市景観計画が目指す成果は、市民の身の回りの環境に関心を持ってもらえたときに成果が拳がったと判断できると思う。数値等で簡単に計れる事についても、更にその先に目指すものがある。</p>

	<p>施策をどうすれば最終的な成果に近づけるのか、を議論しなければならぬと思う。届出基準のあるものについて成果と捕らえているのは違うと思う。そこから良い物を作ろうと思われるのであれば、それが成果だと思う。成果というのはなかなか難しい。我々が目指すのは心の景観なので、人の心にどれだけ環境に対する思いが強くなったのかで成果を計るべきだと思う。今日の審議会の成果を見出して欲しい。</p>
会長	<p>市の景観施策に足していく必要がある。</p>
亀井副会長	<p>心に訴える施策のラインナップが無い気がする。制度的なものは豊富だが、市民の心に訴える機会やイベントについて付け加えると良いと思う。</p>
平岡委員	<p>心の景観について、なるほどと思う。川辺町では昔、道直し（現在はクリーン作戦という名称）を町内の人でおこなっていたし、近年でも皆で定期的に草刈をしている。地元は自分達で綺麗にしていこうとする気持ちは大事と感じている。</p>
会長	<p>まちづくりの根源でもあり、住民が動き出すことが成果でもあると思う。木曾川左岸や元久々利は住民主導で動いているので、成果が挙がっている。兼山も動き出しているのでは。</p>
奥村（公）委員	<p>兼山は綺麗です。城址の観光も取り組んでいるし、各自で花を植えたりして、まちづくりはおこなわれているが、土砂崩れといった災害が発生して補強せざるを得なくなり、前は緑豊かだった所がコンクリート舗装になってしまった。やむを得ないところもあるが、自然災害についても考えていかなければいけないと思う。</p>

会長	景観計画の中に、安心・安全が抜けている気がする。
奥村（公）委員	全てが豊かなところで出来あがったものではないので、足元から崩れてしまったらどうなるのか、最近思うようになってきた。
会長	安心、安全ならば、景観も美しいということもあるのかなと思う。
義村委員	各務原市では敷地面積に対し一定の面積に植栽をしてもらい、それに対し助成金を出している。可児市は生け垣等に範囲が決められているので、なかなか利用者がいないのではないか。家を建てる際に各務原市がおこなっているような制度にすれば、利用者が増えるのではないか。それと、高齢化が進み、メンテナンスや処理が出来ないし、袋が簡単に破れてしまう。行政で枝葉の集積場を作ってはどうか。
会長	基本的には自己管理だが、やり易くするのが行政の役割。普通のことを普通におこなう部分と、更に積極的におこなう部分がある。あるイメージを持ってそれなりの形にしていくことも大事である。ゼロからプラスの方の話なので、住民に浸透していくことが必要だと思う。
奥村尚委員	以前の審議会が出たかもしれないが、景観上電柱が凄く汚い。久々利地区の電線地下埋設化はできないのか。
会長	国では民間レベルまで電柱地中化の方向で進んでいるがなかなか浸透していない。方法としては地中化が一番いいが、移設か環境電柱という色を付けるのもある。問題は予算面と、工事中は車が通れないこと。そのため地中

	<p>化出来ていないのでは。久々利の目標の一つとして、電柱地中化をキャンペーンし、住民と一緒に動いていくといいのでは。祭事の際に邪魔にならない。まちづくり委員会に提案事項の一つとして挙げるのは大事。実現するかは予算面の問題等あるが、委員会の方に是非言いたい。</p>
<p>奥村（公）委員</p>	<p>個々の家で生き物を育てることは、生け垣等も生き物なので、設置したらそれを維持していかなければならない。公共の予算で道路を綺麗にすれば、周辺の住民も行動を起こすのでは。難しい手続を経て申請しなくても、個々の考え方で良くしていこうとしていると思う。</p>
<p>会長</p>	<p>公共が綺麗になれば、自分達も綺麗に、という意識が高まる。</p>
<p>奥村（公）委員</p>	<p>行政として取り組みやすい。駅前も元々ある古い街を維持しようという保護的ではなく、新しく創る良いまちづくりの方がやりやすいのでは。</p>
<p>伊藤（峰）委員</p>	<p>住んでいる地区の景観を保っていきたいという思いが先にあって、委員会が発足し、市に提案したことが施策になっていくのが理想的だと思う。最近、元久々利まちづくり委員会と関わる機会があり、一生懸命やられているし、意識が高い方が集まっている。他の地区でもこういった活動が活発になるように、市も提案していくといいと思う。まちづくり委員会で活動されている方は年配者が多い。まちづくりは継続していかないといけない。キーマンがいなくなったら収縮してしまうこともよく聞くので、後継者や引継ぎについても考えなければいけない。</p>
<p>会長</p>	<p>若い方が参加してもらえるといいが、忙しくて難しい状況である。若者が参加できる体制も必要。</p>

<p>可児委員</p>	<p>緑化と景観アドバイザーについて、インターネットを利用する人が多いので、重点的によく見えるようにしてはどうか。緑化をしてない方が、直ぐに市に相談して実施するとは考えにくい。関連業者や組合等に依頼するのが多いと思うので、可能ならば業者等と連携した方がスムーズに進むと思う。制度を知らない人が多いと思うので、それも手段だと思う。</p> <p>もう一点は、広告業組合を代表してお願いしたいが、屋外広告物の依頼者がルール等を理解していないことが多い。説明や指導はおこなっているが、依頼者の理解不足も多々発生する。市からより細かい指導をしてもらえれば有り難い。条例を守っている業者と守っていない業者がいて、温度差がある。罰則規定までとはいかなくても厳しく指導してもらえればと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>組合と市で調整して欲しい。アドバイザーが入ってもいいかもしれない。</p> <p>その他に意見はありますか。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>枝の処分について、各家庭で緑化を薦めても、枝葉は袋が破れても、ゴミ袋に入れて処分しなければならない。処理業者に依頼するまでも無い枝葉の始末をどうすればいいのかがわからない。ゼロからならば、シルバー人材センターや造園業者に依頼することも出来るが、高齢化が進む中、始末についての実現可能な方法があると良いと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>ゴミは市で処理するのか。袋は有料か。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>ちょっと引っ掛けるだけで破れてしまう。</p>

会長	技術的な問題では。入れ方によっては破れない。
長谷川委員	お米の入っていた袋に入れて、二重にすると破れない。
会長	ボランティアやシルバー人材センターの育成が必要では。お金の問題もあるが、処理を全て行政にお願いするのは難しい。
加藤委員	何かいいアイデアがあれば、と思う。
会長	<p>審議会はアイデアを出す場である。行政に押し付けるだけでなく、こんなことをやってみては、という提案の場として相談できればいいと思う。</p> <p>私からの意見としては、可児市の良い物を皆で発掘していきたい。悪い物は結構出てくる。良い物は、先程の桜は良い物だから残さなければいけないとか。いいもの見つけを小中学生からやってもらい、景観重要樹木や重要建造物として指定して欲しい。</p> <p>もう一つは、表彰制度を、例えば、すばらしい活動をしている人々に対して、市長に上申して表彰してもらうように審議会でやっていったらいいのではないかな。</p> <p>インターネットを活用し、可児市を世界に発信するのも必要。人が来たらこちらも着飾る、着飾って良くなればまた人は集まり、交流が生まれる。交流を大事にしていきたい。</p> <p>もう一つ、景観形成重点地区が久々利だけなので、他にも幾つかあってもいいと思う。狙いを定めている所はあるようだが、ちゃんとした調査をしなければならない。調査して基準を作ってもザルになってはいけない。ここだけは守って欲しいことを示せばいいのではないかな。</p> <p>他に何かありますか。</p>

長谷川委員	景観重要樹木について、この木は何ですか。折角全国で588箇所、岐阜県内でたった1つであることは誇れることだが、何故指定したのか、どう管理していくのかを入れてもらいたい。すんなりとスルーされるのはまずい。
会長	皆に知ってもらい、皆で誇りましょう。
加藤委員	建物でも、林酒造は素晴らしいと思う。周りの景観ごと守りたい。
会長	今指定していかないと無くなってしまう。候補を挙げていただいて、残していきたい。 意見も出揃ったと思われるので、進行を事務局にお返しする。
課長	一步前へ、が何年か経過して半歩になっているところがあるので、一步進めるように頑張りたい。
その他	
部長	(連絡事項は特になし) 貴重な意見をいただき、可児市景観行政に生かしていきたい。一步でも二歩でも住民の中にはいって啓発していきたい。 (閉会を宣言)